

## 全国会員100万人達成計画に係る土岐市シルバー人材センターにおける中・長期計画

はじめに

少子高齢化が急速に進展し、長期間にわたる人口の減少が見込まれ、これによる労働力の不足がもたらす経済活動への影響が懸念されている。

多くの業種における人手不足の解消や保育及び介護等の現役世代を支える分野での労働力の確保が強く求められ、国においてもシルバー人材センター事業の更なる推進を念頭に施策が発表されている。

第六次土岐市総合計画で高齢化率(65歳以上の高齢者の割合)を見ると、2014年(平成26年)29.2%から2020年(平成32年)32.5%、2025年(平成37年)は34%と高齢化率が一層高まると推計している。

岐阜労働局の発表による有効求人倍率(一般・パートの全数)を多治見労働基準監督署で見ると平成24年度0.86倍から平成27年度は1.71倍となり、平成29年度は1.99倍、そして平成30年6月は2.18倍となっている。特にパートだけを見ると2.56倍と高い数値になっている。

多治見労働基準監督署管内は県内でも特に厳しい労働力不足であることが見て取れる状況である。

土岐市シルバー人材センターとしてもシルバー事業の理念である「自主・自立、共同・共助」を念頭に急速な人手不足に対応すべく会員拡大に取り組むものである。

以上のことから、公益社団法人土岐市シルバー人材センターは、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が策定した「第2次会員100万人達成計画」を受けて、計画の達成に向けて岐阜県連合の指導を受け中・長期の目標値を定め取り組むこととする。

具体的には、以下の取組みを積極的に推進し、その検証を行い次のサイクルに繋ぎ目標値達成に向けて成果を上げるよう努めるものとする。

## 目標会員数(人)

2018.3.31 (平成 29 年度末)	2019.3.31 (平成 30 年度末)	2020.3.31 (平成 31 年度末)	2021.3.31 (平成 32 年度末)	2022.3.31 (平成 33 年度末)	2023.3.31 (平成 34 年度末)	2024.3.31 (平成 35 年度末)	2025.3.31 (平成 36 年度末)
265	275	285	296	313	331	350	370
	対前年+10	対前年+10	対前年+11	対前年+17	対前年+18	対前年+19	対前年+20

### 1 PDCAサイクルによる目標管理

計画期間中の各年度の目標会員数及び重点実施事項に対する進捗状況について、PDCAサイクルによる的確な目標管理を行い、四半期ごとに問題点の洗い出しや成功・失敗の要因を分析し、計画の修正等も含めて目標達成に向けて点検する。

### 2 会員の増加に向けた具体的な取組

- (1) 会員獲得の目標値を目に見える形で情報提供し、役職員、会員が共通認識の下で取組む。
- (2) ひとり一会員入会勧誘の活動を促進する。
- (3) 女性会員に適した就業の場の拡大を踏まえて、女性の入会を意図した取組みの検討を進める。
- (4) 加齢に伴い体力的に配慮する必要のある会員に適した就業の場の開拓に努める。
- (5) 入会申込者への速やかな仕事の提供に努める。
- (6) 入会説明会の工夫（現況の説明に加え、入会希望者に対してセンター事業の魅力を伝える工夫が必要。）
- (7) 会員拡大のためには、豊富な就業の場の情報を地域の高齢者に提供することが有効であり、派遣契約を行う前情報として人手を必要としている企業情報を豊富に収集しておく必要がある。
  - ア 地域の企業を訪問し、人手不足となっている職種や時期等の把握に基づく、派遣就業の情報収集及び提案
  - イ 会員の能力・経験・資格の分析による派遣就業の提案

### 3 退会会員抑制の取組

- (1) 働く意欲があれば体力の衰えに見合った社会参加ができるための就業の場の確保・工夫に努める。
- (2) 退会申出を安易に受理することなく、年度内の情報提供などを通じて体力の回復、気力の回復の時間を持つ、又は、事情の改善が望めない場合においても、年度内は仲間として機関誌など情報の提供を継続する。

### 4 市広報を活用した積極的な広報活動

シルバー人材センターの活動は、地域社会にとって有益なものであり、志を同じくする仲間が力を合わせて社会参加することの楽しさ、活動の魅力を広く社会に広める取組みを強化する。

シルバー人材センターの理念を広く社会にアピールし、単に会員の就業の活動に止まらない時宜を踏まえた公益活動を地域社会の目に見える形で推進する。

### 5 役員、職員、会員が一体となった計画の推進

役職員、会員が一丸となってそれぞれの立場で、あらゆる場所を活用して会員100万人達成の必要性を地域社会全般にアピールし、一億総活躍社会実現の意識醸成に努め、地域の高齢者のシルバー活動に参加する動機づくりに努めるものとする。